

# 令和4年度第1回横須賀市スポーツ推進審議会

日時：令和4年（2022年）8月2日（火）

10時00分～11時00分（予定）

場所：横須賀市役所 3号館3階 302会議室

## 次 第

- 1 委嘱書交付
- 2 文化スポーツ観光部長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 議 題
  - （1）委員長の互選について
  - （2）令和4年度横須賀市スポーツ推進審議会年間予定について
  - （3）令和4年度スポーツ関係事業概要について
  - （4）令和4年度スポーツ関係事業（予定）について
  - （5）横須賀市スポーツ推進計画の改訂について
- 5 報告事項
  - （1）アーバンスポーツ（BMX・ダンス）について
  - （2）横浜F・マリノスに関連した取り組みについて
- 6 意見交換

## 横須賀市スポーツ推進審議会委員

令和4年8月2日現在

No.	氏名	区分	団体名等	備考
1	あおき ひさよ 青木 久代	市	公募市民	1期目
2	いけだ まさひで 池田 正英	団	横須賀市スポーツ推進委員協議会 副会長	3期目
3	おのぎ ひろき 小野木 浩貴	市	公募市民	3期目
4	かとう つとむ 加藤 努	団	横須賀市レクリエーション協会 理事長	5期目
5	かとう あきしげ 加藤 明成	団	神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会横須賀支部	1期目
6	かしわぎ まさかず 柏木 雅一	団	横須賀市スポーツ協会 理事長	4期目
7	かまはら のりむね 鎌原 徳宗	団	横須賀市小学校体育研究会 会長	3期目
8	しょうじ よしかつ 東海林 義勝	団	横須賀市スポーツ少年団 本部長	9期目
9	すずき しほこ 鈴木 志保子	学	神奈川県立保健福祉大学 教授	7期目
10	たかはら こういち 高原 宏一	団	武山学区体育振興会 会長	1期目
11	ひらい けいいちろう 平井 慶一郎	団	横須賀市中学校体育連盟 会長	2期目
12	よねもと あつこ 米本 篤子	団	横須賀市スポーツ指導者協議会 副会長	3期目

(50音順)

区分欄 「市」 公募市民、「団」 関係団体の代表者、「学」 学識経験者

(資料2)

(2) 令和4年度横須賀市スポーツ推進審議会年間予定について

会議日程・場所	議題等
令和4年8月2日	第1回横須賀市スポーツ推進審議会
令和5年1月頃	第2回横須賀市スポーツ推進審議会 <u>議 題</u> ○ 横須賀市スポーツ推進計画の（改訂版）の審議 ○ 令和4年度スポーツ関係事業概要及び進捗状況について 他

**説明**

今年度は2回の開催を予定しております。

## (資料 3)

## (3) 令和4年度スポーツ関係事業概要について

## スポーツ振興課

No.	事業名	予算額 (単位 千円)	事業内容
1	給与費	65,020	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般職員</li> <li>・スポーツ推進審議会委員、スポーツ推進委員、 体育功労者選考委員会委員報酬</li> </ul>
2	スポーツ推進審議会関係経費	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会開催経費</li> </ul>
3	市スポーツ推進委員関係経費	681	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定数 322 名以内</li> <li>・各種研修会等開催・参加</li> <li>・新体力テスト測定員・学校体育授業サポーター派遣</li> </ul>
4	一般事務費 (保健体育総務費)	1,596	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務費</li> </ul>
5	学校体育施設開放 奨励事業費	32,295	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館・武道館・校庭 市立小学校 46 校、中学校 23 校 (25 か所)</li> </ul>
6	市民スポーツ教室	7,571	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委託教室 (20 教室)</li> <li>・健康本力づくり教室</li> <li>・はつらつ体操教室</li> <li>・楽しくエアロビック教室</li> <li>・幼児の体力づくり教室</li> <li>・スポーツレクリエーション教室</li> <li>・小学生水泳教室</li> <li>・夏休みジュニア水泳教室</li> <li>・ジュニア相撲教室</li> <li>・夏季ジュニアソフトテニス教室</li> <li>・太極拳教室</li> <li>・ジュニア新体操教室</li> <li>・ジュニア卓球教室</li> <li>・なぎなた教室</li> <li>・ジュニアラグビー教室</li> <li>・ジュニア陸上教室</li> <li>・ジュニアレスリング教室</li> <li>・フットサル教室</li> <li>・冬休み・春休みファミリー・ジュニアスキー教室</li> <li>・ジュニアバドミントン教室</li> <li>・ウインドサーフィン教室</li> </ul>
7	市民体育大会	5,809	<ul style="list-style-type: none"> <li>・38 種目</li> </ul>
8	各種競技大会事業	1,834	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀市少年野球大会</li> <li>・市民駅伝競走大会</li> </ul>

## (資料3)

## 【社会体育関係スポーツ振興課】

No.	事業名	予算額 (単位 千円)	事業内容
9	国県体育大会等 選手派遣事業	4,631	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国・国際大会等出場者奨励金</li> <li>・全日本強化指定選手奨励金</li> <li>・国民体育大会・全国障害者スポーツ大会出場者壮行会</li> </ul>
10	市民レクリエーション 行事等	10,684	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主催行事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童ソフトボール大会</li> <li>・児童ミニバスケットボール大会</li> <li>・成人ソフトボール大会</li> <li>・成人バレーボール大会</li> <li>・よこすかスポーツフェスタ 2022</li> </ul> </li> <li>○委託事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民レクリエーション大会 (春・秋季)</li> <li>・スポーツリズムトレーニング普及事業</li> </ul> </li> <li>○補助事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・早起きラジオ体操の会</li> <li>・市民登山の会</li> </ul> </li> <li>○共催行事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ能力測定会</li> </ul> </li> </ul>
11	社会体育団体等補助金	21,555	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営費補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀市体育協会 (40 種目団体)</li> <li>・横須賀市レクリエーション協会 (10 団体)</li> <li>・横須賀市スポーツ少年団 (29 団)</li> <li>・学区体育振興会 (45 学区)</li> </ul> </li> <li>○事業費補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ選手育成強化事業 オリンピック等国際大会に向けた選手育成強化への 助成</li> <li>・地域生涯スポーツ振興事業</li> </ul> </li> </ul>
12	プロスポーツ ふれあいプロジェクト	116,662	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームタウンチーム活動推進事業</li> </ul>
13	スポーツ基金積立金	17,061	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民スポーツの振興に資するための必要な経費に充当 指定寄附分の積立 17,059 千円 運用利子分 2 千円</li> </ul>
14	少年期スポーツ障害予 防対策事業	756	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ障害予防講話</li> <li>・予防トレーニング、障害検診</li> </ul>
15	一般事務費 (社会体育振興費)	599	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種大会への市長賞交付</li> <li>・各種大会行事管理者賠償責任等保険料</li> <li>・事務費</li> </ul>
16	スポーツ表彰事業	1,002	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市体育功労者表彰</li> <li>・スポーツ栄光章表彰</li> <li>・スポーツ大賞表彰</li> </ul>
	計	287,765	

## 【施設関係 1/1】

スポーツ振興課

No.	事業名	予算額 (単位 千円)	事業内容
1	体育会館管理委託費	562,835	・令和4年度分体育会館指定管理料
2	体育会館営繕工事費	556,186	<ul style="list-style-type: none"> <li>○営繕工事費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・西体育会館特定天井改修その他工事 ※令和4年9月20日から供用開始 競技場、小体育室に空調設備新設</li> <li>・南体育会館改修事業（令和3～5年度継続事業） ※令和4年10月～令和6年3月まで休館 ※特定天井改修、競技場・小体育室空調新設工事</li> <li>・メインアリーナ附属棟屋上防水工事</li> <li>・くりはま花の国プール非常用発電機改修工事</li> </ul> </li> <li>○事務費</li> </ul>
3	事務費等	30,904	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育会館運営費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕料 <ul style="list-style-type: none"> <li>サブアリーナ監視カメラ修繕</li> <li>花の国プールエントランス屋上防水修繕</li> <li>西体育会館給水バルブ修繕</li> <li>南体育会館競技場音響設備修繕 など</li> </ul> </li> <li>・建物総合損害共済基金分担金</li> <li>・公共施設予約システム関連経費</li> <li>・体育会館器具運搬業務委託</li> <li>・体育器具購入費 <ul style="list-style-type: none"> <li>ベンチプレスセット</li> <li>スポーツタイマー</li> <li>ソフトマット など</li> </ul> </li> <li>・事務費</li> </ul> </li> </ul>
	計	1,149,925	

## (資料3)

※体育

教育委員会保健体育課

No.	事業名	予算額 (単位 千円)	事業内容
1	学校体育指導業務	1,509	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育／保健体育科夏季研修講座 2回</li> <li>・体育／保健体育科実技講習会 1回</li> <li>・中学校スポーツ技術講習会 2回</li> <li>・学校水泳指導法研修講座 1回</li> <li>・学校水泳プール運営管理・安全指導説明会 1回</li> <li>・健康・体力向上推進研修講座 1回</li> <li>・部活動指導者研修講座 1回</li> <li>・体力づくり実践研究発表大会 1回</li> <li>・体力づくり実践研究委託(小・中学校各1校) 2校</li> <li>・運動部活動モデル校研究委託(中学校) 1校</li> <li>・児童生徒健康・体力向上推進委員会 2回</li> <li>・学校体育指導員・学校指導助言・学校体育指導事務等</li> <li>・手話通訳謝礼(2人×4回)</li> </ul>
2	小学校体育科副読本・ 中学校保健体育科副読 本及び教師用指導書	12,668 (内訳) 〔小 10,184 中 2,484〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1年～6年の児童用副読本・教師用指導書</li> <li>・中学校生徒用副読本(1年時に配付し3年間使用)</li> </ul>
3	小学校児童各種行事・ 記録大会	882	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校児童を対象とした行事・記録大会 ＜相撲・陸上・表現・ボール運動＞4種目各1回</li> </ul>
		2,987	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加児童交通費(バス借上料を含む)</li> </ul>
4	小学校水泳指導関係	5,426	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校水泳指導に係る交通費(バス借上料を含む) (船越・汐入・大津・田浦・山崎・走水・沢山小) 7校</li> <li>・水泳実技指導者の派遣費および保険料</li> </ul>
5	中学校武道実技指導者 派遣	62	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武道必修化に伴い、専門知識と技術を持った指導者派遣 費および保険料</li> </ul>
6	横須賀市中学校総合体 育大会	2,305	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀市中学校総合体育大会-総合開会式と 13種目を開催</li> </ul>
		5,905	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加生徒交通費(バス借上料を含む)</li> </ul>
7	中学校各種競技大会	2,902	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀市中学校駅伝競走大会(男子・女子)</li> <li>・市内中学校各種運動競技新人大会(13種目)</li> <li>上記大会に係る委託料、役員謝礼、参加賞・賞品、自転 車保険料</li> </ul>
		500	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅伝競走大会参加生徒交通費等</li> </ul>

## (資料3)

教育委員会保健体育課

No.	事業名	予算額 (単位 千円)	事業内容
8	全国・関東・県下中学校各種競技大会選手派遣	10,863	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市を代表して出場した中学校生徒に激励費として旅費相当額の実費支給（私立生徒は全国・関東大会の半額支給）</li> <li>全国、関東大会出場生徒激励会</li> <li>全国大会出場生徒激励用の懸垂幕、横断幕作成</li> </ul>
9	中学校運動部活動支援事業費	11,637	<ul style="list-style-type: none"> <li>実技指導や生徒の引率等ができる部活動指導員を配置（運動部に6名配置予定）</li> <li>指導困難等の運動部に技術指導者派遣（43運動部）</li> </ul>
10	県中学校体育連盟負担金	1,128	<ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川県中学校体育連盟の運営負担金</li> </ul>
11	高等学校運動部活動強化育成	6,459	<ul style="list-style-type: none"> <li>市立総合高等学校運動部活動技術指導者謝礼金および保険料（7名）</li> <li>部活動指導員の派遣（1名）</li> <li>運動部活動検討委員会の設置</li> <li>運動部活動で用いる用具、消耗品の整備充実</li> </ul>
12	全日制高等学校各種競技大会	130	<ul style="list-style-type: none"> <li>横三地区高等学校総合体育大会補助金</li> </ul>
13	全国・関東全日制高等学校各種競技大会選手派遣	1,552	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市を代表して出場した横須賀総合高等学校全日制生徒に激励費として旅費実費支給</li> <li>全国大会出場壮行会開催費用の一部支給</li> <li>全国大会出場生徒激励用懸垂幕、横断幕作成</li> </ul>
14	全国・関東定時制高等学校各種競技大会選手派遣	321	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市を代表して出場した横須賀総合高等学校定時制生徒に激励費として旅費実費支給</li> <li>全国大会出場壮行会開催費用の一部支給</li> <li>全国大会出場生徒激励用懸垂幕、横断幕作成</li> </ul>
15	ろう学校運営等	133	<ul style="list-style-type: none"> <li>水泳授業に係る交通費</li> <li>市主催各種競技大会に参加した生徒に旅費実費支給</li> <li>運動部活動技術指導者謝礼金</li> <li>県中学校体育連盟加盟負担金（ろう学校分）</li> <li>関東聾学校体育連盟負担金</li> </ul>
16	ろう学校各種競技大会選手派遣等	310	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国・関東・県下ろう学校各種競技大会出場した生徒に旅費実費支給</li> <li>全国大会出場壮行会開催費用の一部支給</li> <li>全国大会出場生徒激励用懸垂幕作成</li> </ul>
17	小学校水泳プール運営	8,918	<ul style="list-style-type: none"> <li>33校</li> </ul>
18	中学校水泳プール運営	7,221	<ul style="list-style-type: none"> <li>18校</li> </ul>
19	高等学校水泳プール運営	406	<ul style="list-style-type: none"> <li>1校</li> </ul>
	計	84,224	



令和4年度スポーツ関係事業（予定）について

（資料4）

月	日	事業名	会場
4	16	横須賀市中学校総合体育大会 総合開会式	横須賀市総合体育会館
5	8	春季レクリエーション・スポーツフェスタ	南体育会館ほか
6	11	中学校スポーツ技術講習会（柔道）	横須賀市総合体育会館
	26	第12回ソフトバレーボール大会	横須賀市総合体育会館
7	3	横須賀スタジアムに遊びに行こう！！	横須賀スタジアム
	10	大楠山ミニマウンテンマラソン2022	湘南国際村めぐりの森～大楠山周辺
	22～24	BMXジャパンカップ	うみかぜ公園
	24	第35回児童ミニバスケットボール大会	横須賀市総合体育会館
	24	第63回児童ソフトボール大会	不入斗公園野球場ほか
	30～1	第69回横須賀市少年野球大会	横須賀スタジアムほか
8	4	全国・関東大会出場選手激励会（中学校）	横須賀市役所本庁舎
	13～16	全国女子中学生硬式野球選手権大会	横須賀スタジアムほか
	14	JAPAN DANCE DELIGHT VOL. 28横須賀大会	横須賀芸術劇場
9	4	第62回成人ソフトボール大会	不入斗公園野球場ほか
		第62回成人バレーボール大会	横須賀市総合体育会館
	7～8	第95回関東大学バスケットボールリーグ戦	横須賀市総合体育会館
10	10	よこすかスポーツフェスタ2022	各体育会館ほか
		秋季レクリエーション・スポーツフェスタ	横須賀市南体育会館ほか
	15	横須賀市中学校駅伝競走大会（予備日16日）	国道16号馬堀海岸区間
	18～19	バスケットボール女子日本リーグ	横須賀市総合体育会館
11	3	第17回1万メートルプロムナード・ウォーク	ヴェルニー公園～横須賀美術館
	5	第4回グラウンドゴルフ大会	佐原2丁目公園（リーフスタジアム）
		横須賀市児童生徒表現運動・ダンス発表会	横須賀市総合体育会館
	16～17	全日本フリースタイル選手権大会	津久井浜海岸
	19～20	三笠艦記念スポーツひのまるキッズ関東小学生柔道大会	横須賀市総合体育会館
	20	よこすかシーサイドマラソン	よこすか海岸通り周辺
	26	横須賀市小学校児童陸上記録大会（予備日27日）	不入斗公園陸上競技場
12	7	横須賀市小学校児童ボール運動大会	市内小学校
	10	中学校スポーツ技術講習会（体操競技）	横須賀市総合体育会館
	11	第77回市民駅伝競走大会	未定
1	5	部活動指導者研修講座	横須賀市役所本庁舎
	14・28	第2回よこすか子どもスポーツ障害予防クリニック	横須賀市総合体育会館、勤労福祉会館
2	8	体力づくり実践研究発表大会	ヴェルクよこすか
	11	横須賀市スポーツ表彰式	ヨコスカ・ベイサイド・ポケット
3	19	高校ストリートダンスグランプリ決勝大会	横須賀芸術劇場

（秋頃）

ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会（調整中）

津久井浜海岸

# 横須賀市スポーツ推進計画

【改訂版】～2025年度



平成30年(2018年)3月策定  
令和5年(2023年)3月改訂

## 横須賀市

目 次

はじめに	1
第1章 計画の見直しにあたって	2
第2章 策定にあたって	3
1 計画見直しの趣旨	
2 本計画の位置づけ	
3 計画の期間	
第2章 スポーツを取り巻く現状と課題	4
1 スポーツの経済効果	
2 少子高齢化の進行	
3 子どもの体力低下	
4 生活習慣病の増加	
5 健康寿命の延伸	
第4章 スポーツ推進施策	12
1 目 標	
2 目標達成に向けた施策	
第5章 目標指標および進捗管理	21
用語の解説	27

## はじめに

横須賀市では、平成30年(2018年)3月に策定した「横須賀市スポーツ推進計画」に基づいて、スポーツによる地域の活性化をはじめとする様々な目標達成のための取り組みを行ってきました。

しかし、令和元年度(2019年度)末ごろからの新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、様々な社会的活動が制限されるなど、市民生活に甚大な影響を与えています。

特にスポーツ関連では、2020東京オリンピック・パラリンピックの開催延期をはじめとして、プロ野球やJリーグといったプロスポーツ業界でも開催中止や延期、無観客での試合開催など、その影響が色濃く反映されています。

もちろん市民スポーツにおいても、様々な大会や試合・活動ができない、施設が使用できないなどの、これまでは考えられない多大な影響が生じました。

こういった社会状況を踏まえながら、さらなる市民スポーツの振興、スポーツを通じた地域の活性化、地域経済の発展、健康増進による健康長寿社会の実現などを目指し、「横須賀市スポーツ推進計画の一部見直し」を行うこととしました。

## 第1章 計画の見直しにあたって

### 1 計画見直しの趣旨

「横須賀市スポーツ推進計画」(以下、「本計画」)は、スポーツ基本計画が平成29年(2017年)3月に「第2期計画」として改定されたことを受け、平成30年(2018年)に策定しました。

本計画は、計画期間を平成30年度(2018年度)から令和7年度(2025年度)の8年間とし、その中間年に計画の見直しを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大によって、目標達成のためのほとんどの施策が実施できない状況となったことから、令和4年(2022年)においては見直しを行いませんでした。しかし、新型コロナウイルスに対する国等からの制限解除や、国の「第3期スポーツ基本計画」が策定されたことなどを踏まえ、実状を勘案しながら本計画の一部見直しを行うこととしました。

### 2 本計画の位置づけ

令和4年3月に策定された国の「第3期スポーツ基本計画」をはじめ、新たに2022年度を起点とする「横須賀市基本構想・基本計画」、「横須賀市教育振興基本計画」が策定されたことを踏まえつつ、本計画の目標達成に向けた施策や目標指標の追加・削除、数値の見直しなどを行いました。

### 3 計画の期間

「横須賀市スポーツ推進計画」の計画期間は、平成30年度(2018年度)～令和7年度(2025年度)の8年間です。

今回は当初の見直し予定である令和4年度(2022年度)から1年遅れての見直しとなりましたが、計画期間は変更せず、令和7年度(2025年度)における目標指標の達成を目指します。

スポーツ基本法（抜粋）

第二章 スポーツ基本計画等

（地方スポーツ推進計画）

第十条 都道府県及び市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十四条の二第一項の条例の定めるところによりその長がスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（以下「特定地方公共団体」という。）にあっては、その長）は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（以下「地方スポーツ推進計画」という。）を定めるよう努めるものとする。

## 第2章 スポーツを取り巻く現状と課題

### 1 スポーツの経済効果

スポーツ基本法の前文において、「スポーツは、我が国社会に活力を生み出し、国民経済の発展に広く寄与するものである」と明記され、スポーツが経済の発展及び効果に密接な関係があることを謳っています。

一般的にスポーツ大会が開催されるにあたっては、その大会に関わる予算が執行され、開催されれば、観戦者などにより、地元の飲食、宿泊、お土産品の購入に至るまで消費が望まれます。これが大規模な大会となるとその経済効果は計り知れず、大会実施に伴う経済効果等もしばしば報道されているとおりです。

また、スポーツには市民マラソンなどの一般市民が気軽に参加できるものや、マリンスポーツやトレッキングなど各地域の特性にあわせたスポーツなどもあり、スポーツを「みる」「する」ための旅行者の観光などによるいわゆるスポーツツーリズムの視点からもスポーツの持つ経済効果は高いものがあります。

これらに伴い、近年、各地域において、スポーツコミッションが立ち上げられ、地方公共団体とスポーツ団体、観光産業などの民間企業が一体となって地域資源を組み合わせ活用することにより、まちづくりや地域の活性化につなげる活動も盛んになってきています。

### 2 少子高齢化の進行

我が国の総人口は平成27年(2015年)10月1日現在、1億2,711万人で、65歳以上の高齢者人口は3,392万人で、男女別にみると、男性は1,466万人、女性は1,926万人で、性比(女性人口100人に対する男性人口)は76.1%となります。

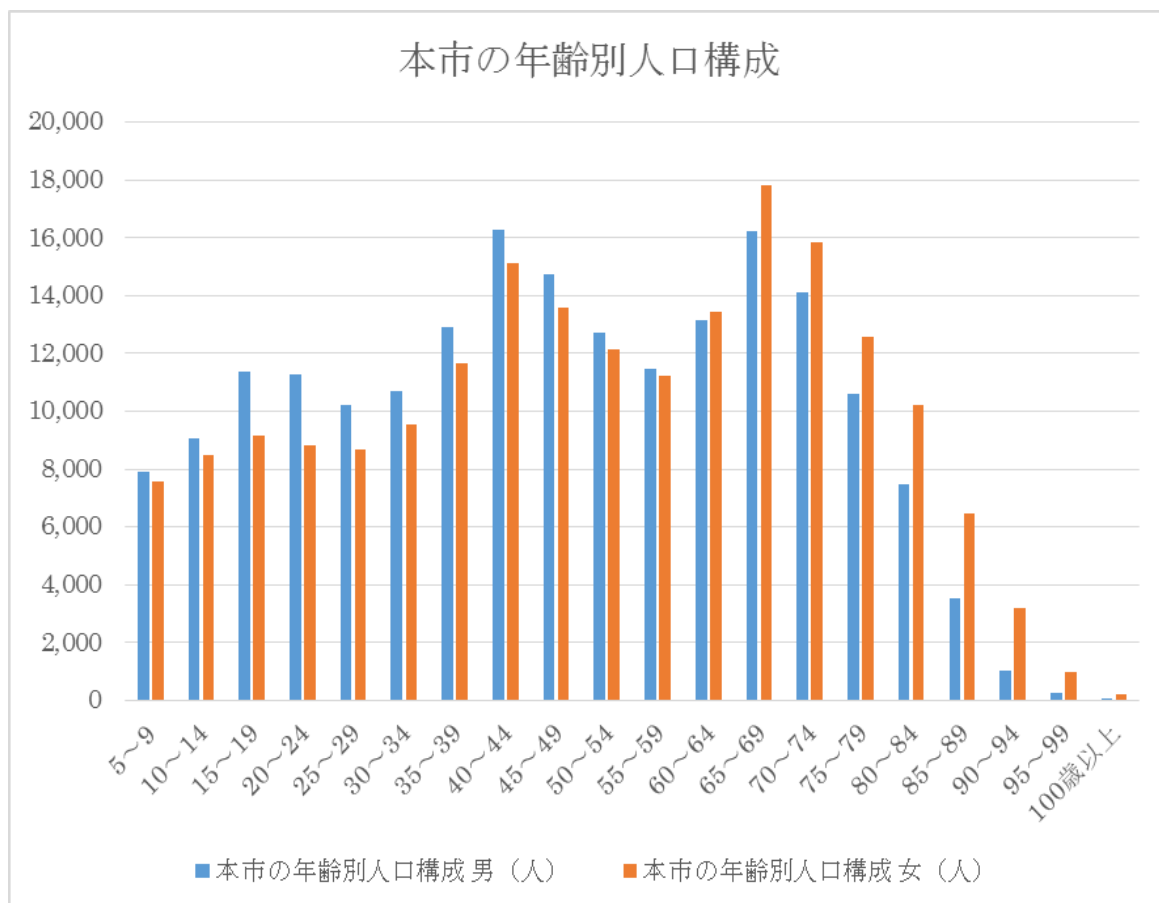
総人口に占める65歳以上人口の割合(高齢化率)は26.7%に達しており、「65～74歳人口」(前期高齢者)は1,752万人、総人口に占める割合は13.8%、「75歳以上人口」(後期高齢者)は1,641万人、総人口に占める割合は12.9%となっています。

高齢者人口は、いわゆる「団塊の世代」(昭和22年(1947年)から昭和24年(1949年)に生まれた人)が65歳以上となる平成27年(2015年)には3,392万人となり、その後も増加して、令和24年(2042年)に3,935万人でピークを迎え、令和47年(2065年)には高齢化率は38.4%に達し、ほぼ2.5人に1人が65歳以上で、75歳以上人口が総人口の25.5%となり4人に1人が75歳以上になると推測されています。また、現役世代1.3人で1人の高齢者を支える社会の到来とも推測されています。

本市においても総人口に占める高齢者人口(65歳以上)は平成27年(2015年)に既に29.5%に達しており令和2年(2020年)には31.4%と30%を超える見込みとなり、それに対して、10歳から14歳までの人口の総人口に占める割合は、平成27年(2015年)

## (資料5)

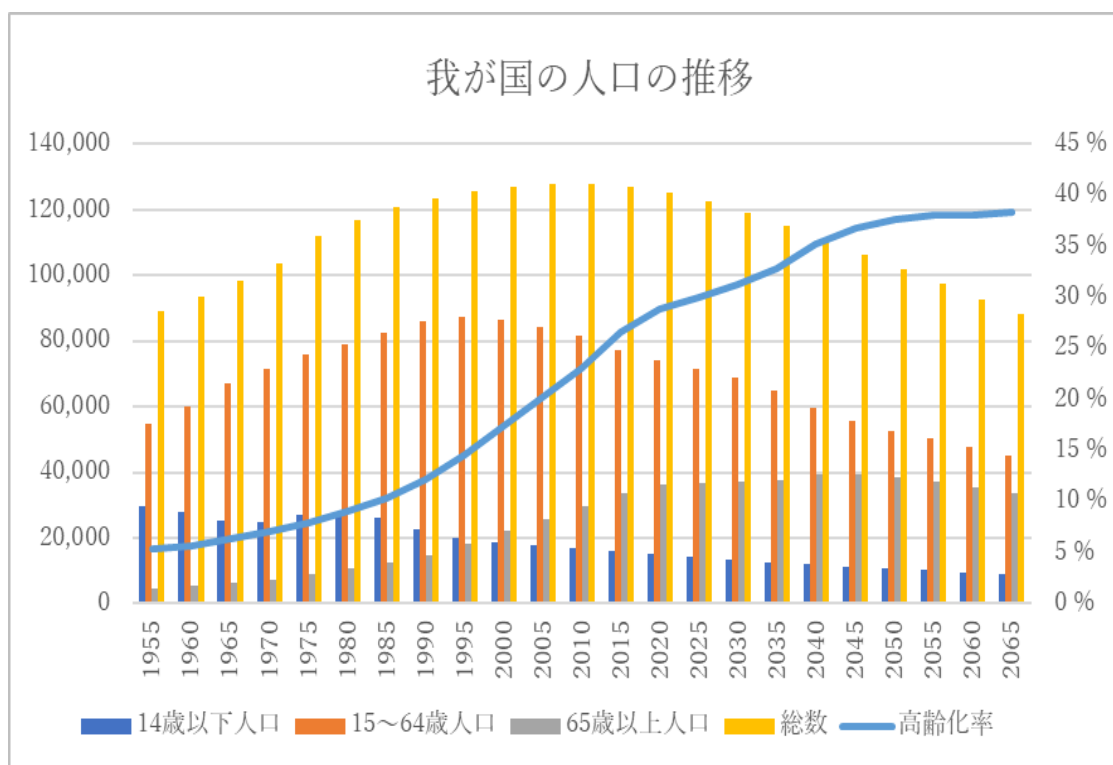
11.6%であり、令和2年（2020年）には10.6%、令和7年（2025年）には9.9%と10%を割り込んでしまうと予測されます。いずれは人口の40%が高齢人口となつてますます少子高齢化が進んでいくと予測されています。



資料：本市の平成27年（2015年）国勢調査結果報告







資料：平成 27 年（2015 年）までは総務省「国勢調査」（年齢不詳人口を除く）、以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成 29 年推計）」

### 3 子どもの体力低下

全国的に子どもの体力水準が高かった 1985 年頃と比較して長期的に低下傾向にありましたが、近年低下傾向に歯止めがかかり、緩やかな上昇傾向を示しています。

スポーツ庁が行っている「体力・運動能力調査」では、子どもの体力や運動能力は 30 年前の子どもを下回り、逆に身長、体重などは親の世代を上回っています。これは子どもの「メタボリックシンドローム」や「ロコモティブシンドローム」など、生活習慣病に通じることでも社会問題化しています。

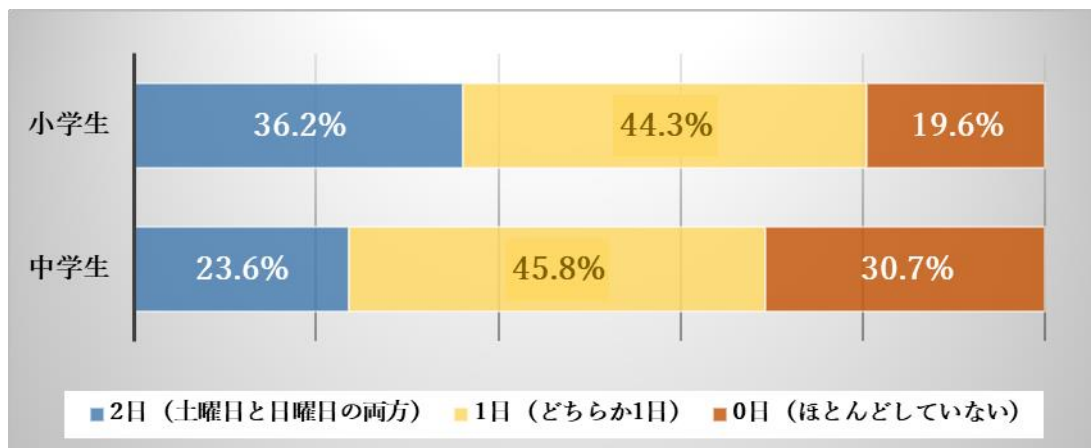
また、運動嫌いやスポーツが苦手な子どもたちが増加した背景には、自由にスポーツに触れ合える空間が少なくなったり、少子化が進みスポーツや外遊びをする機会が減ったりしたことや、コンピュータゲーム等の浸透などにより室内遊びをすることが多くなったりした状況などが考えられます。

一方、近年では運動のできる子どもとそうでない子どもの二極化も進み、どのように運動をするのか、運動の楽しさとは何かなどを知らない子ども達も存在しています。

子どもの体力向上を進めていくために、子ども達にさまざまな運動やスポーツの仕方を知らせて、運動の楽しさをいかに気づかせるかが重要な課題となっています。

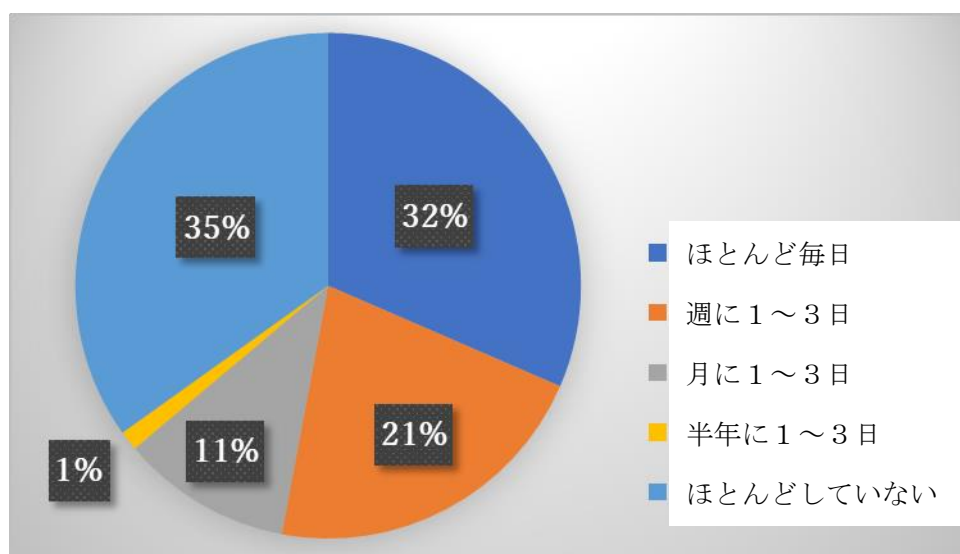
## (資料5)

小・中学生に対して「土曜日と日曜日にスポーツや運動をどれくらいしていますか。」の間  
(回答数 小学生445人 中学生424人)



資料：横須賀市教育アンケート（スポーツ編）令和2年（2020年）3月

高校生に対する「スポーツや運動をしていますか。」の間 (回答数 238人)

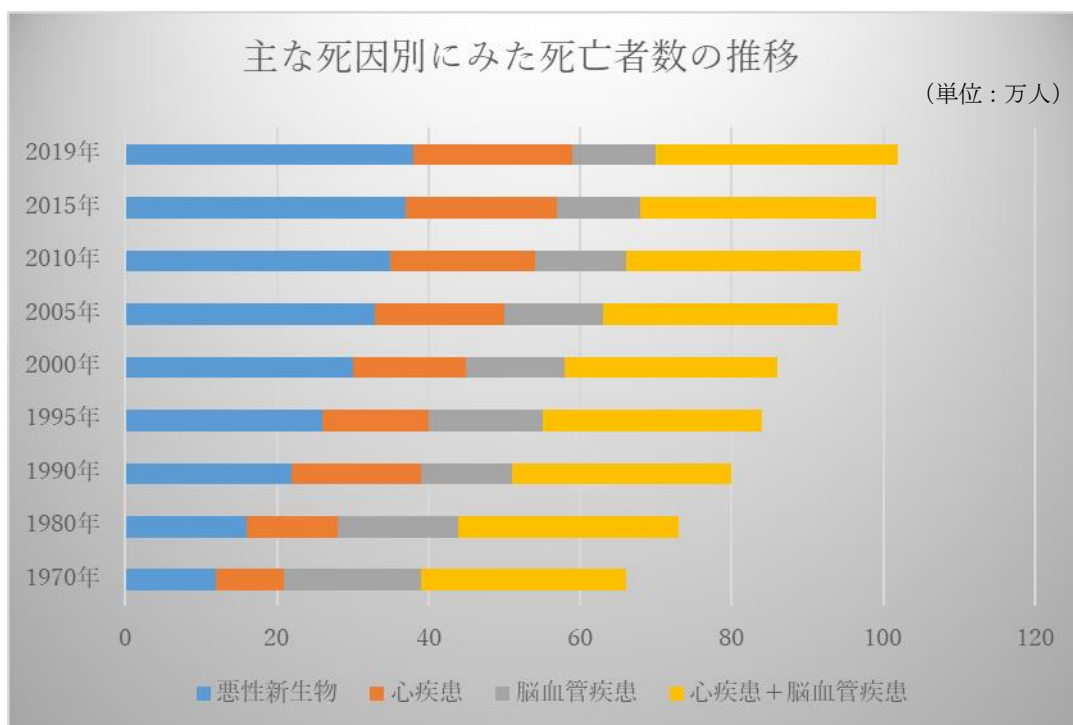


資料：横須賀市教育アンケート（スポーツ編）令和2年（2020年）3月

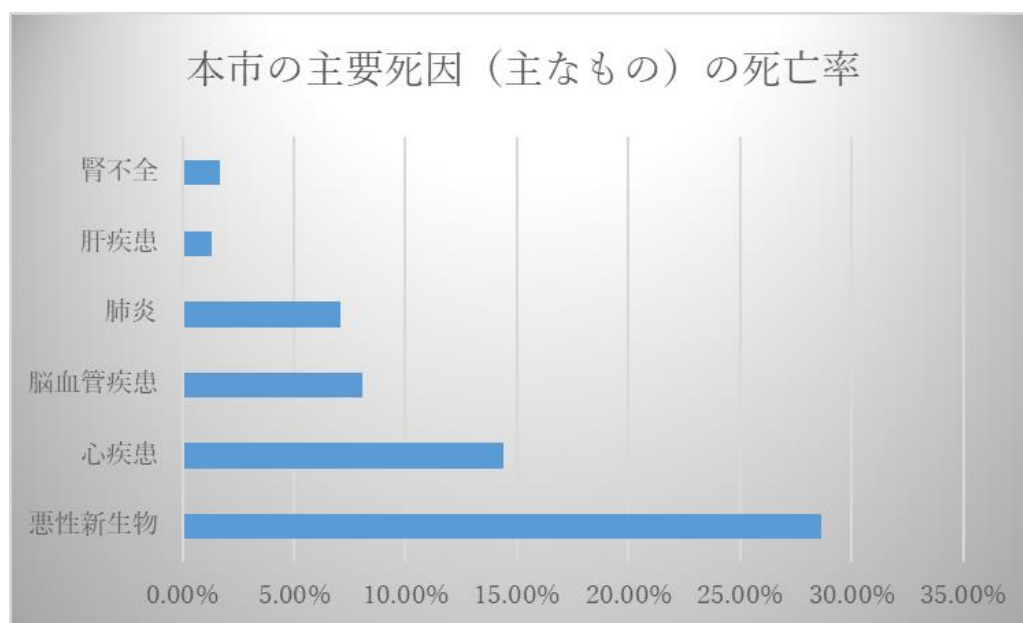
## 4 生活習慣病の増加

厚生労働省によると、生活習慣病とは生活習慣が原因で起こる疾患の総称で、糖尿病・脂質異常症・高血圧・高尿酸血症など、重篤な疾患の要因ともなり、今や健康長寿の最大の阻害要因となるだけでなく、国民医療費にも大きな影響を与えています。食習慣、運動習慣、休養の取り方、嗜好などの生活習慣も、これら疾病の発症や進行に深く関わっていることが明らかになっています。

生活習慣病は日常の生活習慣が病気の原因となるため、生活習慣病の多くは未然に防ぐことができます。日本人の死因は約3分の2を悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管障害などの生活習慣病が占めているとの厚生労働省の調査結果もあります。高血圧や脂質異常症などは、身体活動・運動の増加によって、これらの疾患が改善に向かうと同時に、虚血性心疾患や、脳梗塞などの発症を予防できる可能性があるといわれています。血管を健康な状態に保てば動脈硬化を防ぐことができ、心筋梗塞や脳卒中などのリスクを減らすことが可能です。スポーツを習慣化することにより、生活習慣を改善し、健康で活力のある生活を送ることにつながります。



資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」（令和元年（2019年）は概数）より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成（注）心疾患は高血圧性を除く。



※平成 25～29 年の「主要死因毎の死亡者数」を「死亡者数全体」で除して算出

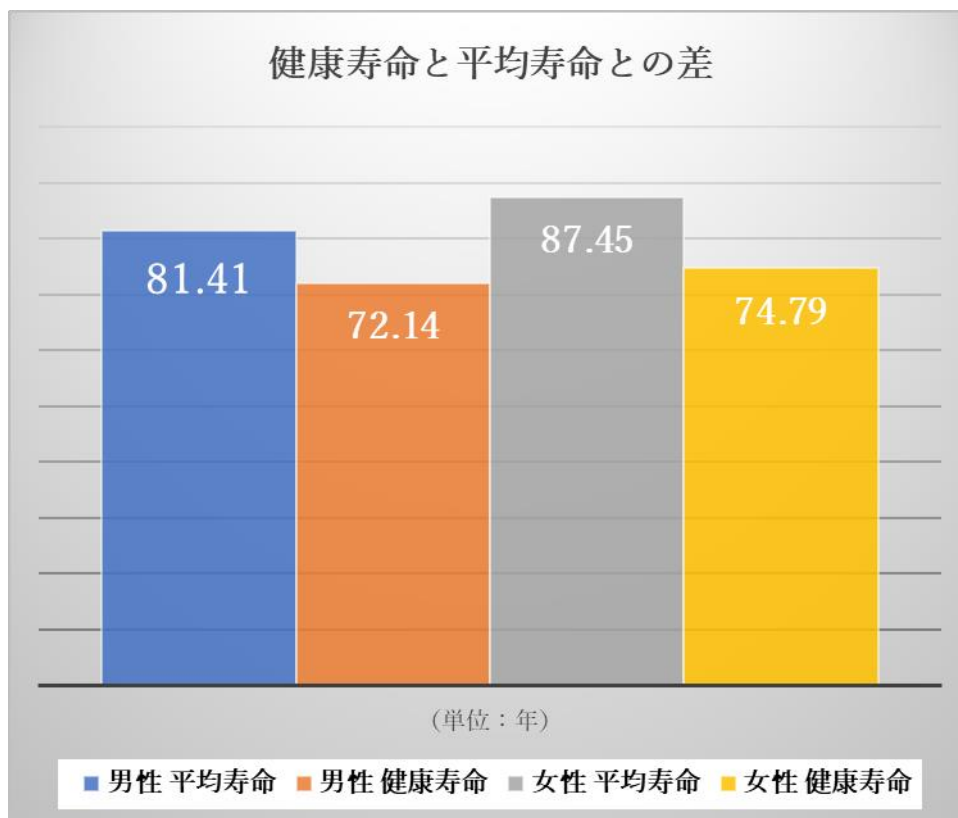
資料：厚生労働省「平成 25～29 年 人口動態保健所・市区町村別統計」をもとに作成

## 5 健康寿命の延伸

我が国の平均寿命はほぼ一貫して延伸し続け、令和元年（2019年）の男性の平均寿命は81.41歳、女性の平均寿命は87.45歳であり、世界有数の長寿国となっています。また、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」である健康寿命は、平成28年（2016年）時点で男性が72.14歳、女性が74.79歳でこちらは男女とも世界2位でしたが、同年の健康寿命と平均寿命の差は、男性が8.84歳、女性が12.35歳とかなりの差が認められます。

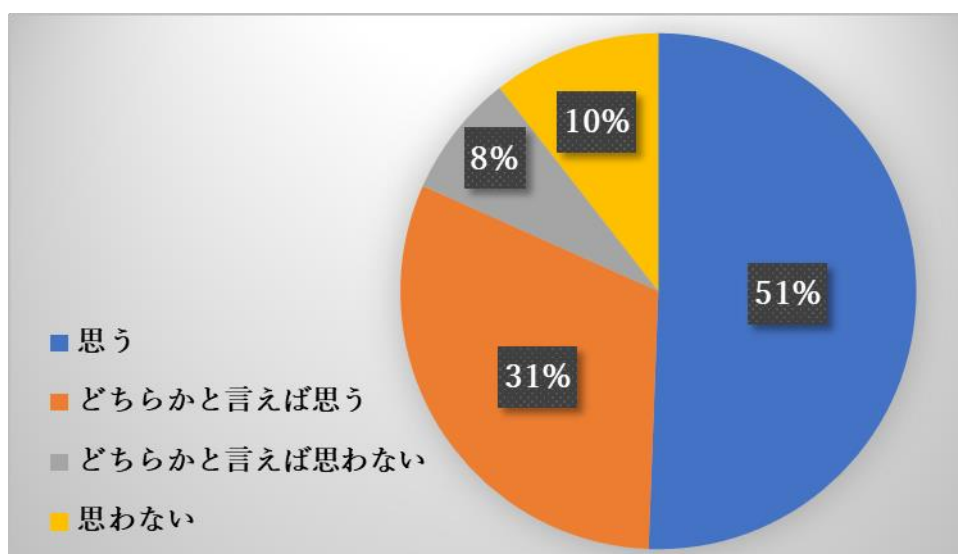
スポーツ基本法の前文には、「スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠」とであると謳われています。単に長寿であるというだけでなく、いかに健康で過ごすことのできる期間（健康寿命）を長く保つかがとても大切なことだといえます。病気になったら治すということではなく、病気にならないようにすることが大事となります。

スポーツ庁は「心身の健康の保持増進に資するスポーツの機会の確保」を行うとしてスポーツをする機会を通じて健康寿命が平均寿命に限りなく近づくような社会の構築を目指すとしています。現状では、「スポーツはしてみたいが、手段が分からない。」「手近なところでスポーツを楽しみたい。」「スポーツの入り口は、個人でも気軽にできるものが良い。」などのアンケート意見が多く、いつでもどこでもスポーツに親しむ環境を整備することにより、健康増進を推進し、健康寿命が平均寿命に限りなく近づくような社会の構築を目指すことが重要となっています。



資料：平均寿命令和元年（2019年）は、厚生労働省大臣官房統計情報部「完全生命表」  
健康寿命（平成28年（2016年））は、厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における  
将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」

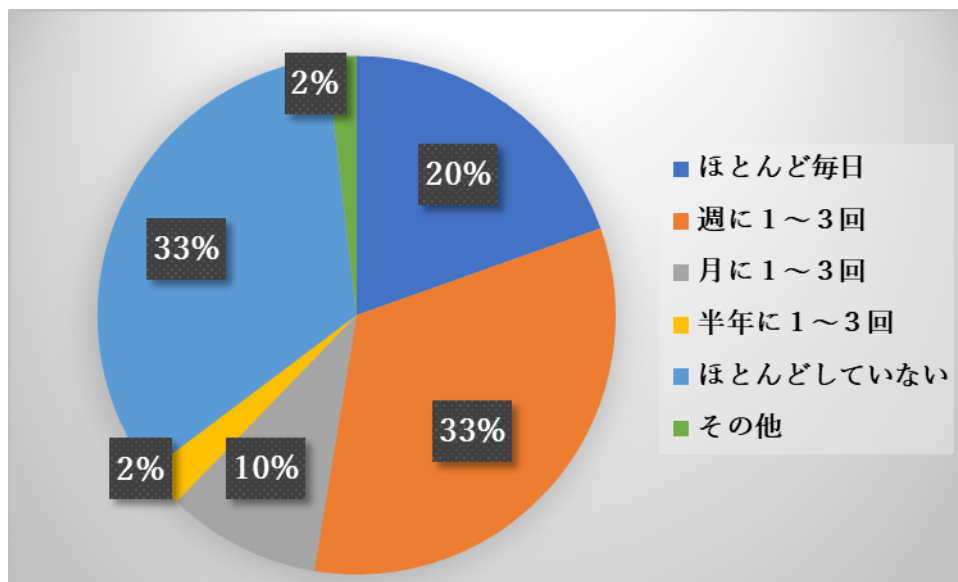
20代以上の市民に対して「運動不足だと思いますか。」の問 （回答数 237 人）



資料：横須賀市教育アンケート（スポーツ編）令和2年（2020年）3月

(資料5)

「現在（普段）、スポーツや運動（ウォーキング・軽い体操などレクリエーション的なものも含みます）をしていますか。」の問（回答数 592 人）



資料：横須賀市教育アンケート（スポーツ編）令和2年（2020年）3月



## 第4章 スポーツ推進施策

### 1 目標

- (1) スポーツによる地域の活性化を図ります。
  - ア スポーツ大会に参加する人、応援する人、観戦する人など、本市への来訪者を増やすため、大規模なスポーツ大会やスポーツ施設等の誘致を推進します。
  - イ 大規模スポーツ大会の開催等が、地域の活性化に結びつくような仕組みやその効果を検証する方法を検討し、実施します。
  - ウ 新たなスポーツ需要を掘り起こして、場や機会を提供し、スポーツをするために本市を訪れる人を増やします。
  
- (2) 誰もが気軽にスポーツ、レクリエーションを楽しむことができる機会の充実を図ります。
  - ア 市民がそれぞれの興味・関心などに応じて、日常的にスポーツ、レクリエーションに親しみ、又はスポーツ、レクリエーションを支える活動に参画することのできる機会の確保に努めます。
  - イ 障害の有無などにかかわらず、スポーツ、レクリエーションを楽しむ機会の確保に努めます。
  
- (3) 競技者の活動を支援するとともにスポーツ愛好家の裾野を拡大します。
  - ア スポーツに対する市民の関心と理解を深め、スポーツへの市民の参加・支援を促進するよう努めます。
  - イ 本市をホームタウンとする横浜DeNAベイスターズ、横浜F・マリノスなどトップレベルのプロスポーツチームとの連携強化を図り、スポーツへの関心を高めます。
  - ~~ウ 60歳以上の人を中心にあらゆる世代が楽しみ、交流を深めることができる健康・スポーツ・文化の祭典である第34回(令和4年度)全国健康福祉祭(ねんりんピック)の神奈川県開催に向けて県や県内他市町村と協力し、大会の成功に向けて取り組みを進めます。【令和4年度実施済みのため削除】~~
  
- (4) 国際競技大会等で活躍する横須賀育ちの代表選手の輩出を目指します。
  - ア 国際競技大会や全国大会に出場する代表選手に対し、奨励金の交付や壮行会の実施を通して、選手の負担軽減や代表選手の意識の高揚を図ります。
  - イ 国際競技大会や全国大会に出場する選手や、長年スポーツ振興に功績のあった方に対し、その功績をたたえるスポーツ関連の表彰を実施します。
  - ~~ウ 市民がオリンピック・パラリンピックへの理解を深め、多くの人が東京2020オ~~

## (資料5)

~~オリンピック・パラリンピック競技大会を観戦することで、大会を身近に感じ、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の機運を盛り上げるよう取り組みます。~~

**【令和3年度に実施済みのため削除】**

- (5) スポーツの場を提供するため、スポーツ施設の整備と円滑な管理運営、学校体育施設等の開放を推進します。
- ア 体育会館、運動公園等体育施設の利用促進と円滑な運営管理を図ります。
  - イ 安全で快適な体育施設とするため、計画的な営繕・改修を進めるとともに、必要な体育施設を整備します。
  - ウ 民間の体育施設を保有する企業等と連携し、スポーツの場を提供します。
  - エ 学校体育施設の開放の在り方を検討し、施設の有効活用を促進します。
- (6) 関係団体、企業と連携したスポーツ施策を推進します。
- ア スポーツを指導するだけでなく、スポーツの素晴らしさを伝えるなどのコーディネーターの役割を担うスポーツ指導者の育成を図ります。
  - イ スポーツ推進委員と連携し、地域におけるスポーツの推進役を担ってもらうなど、地域スポーツの推進を図ります。
  - ウ 体育協会、レクリエーション協会、スポーツ指導者協議会、学区体育振興会、スポーツ推進委員協議会、スポーツ少年団などと協力してスポーツの振興を図ります。
  - エ 企業等と連携してスポーツに親しむ機会を創出します。
- (7) 子どもの健やかな体を育成します。
- ア 体力・運動能力、運動習慣等の実態把握と調査結果の活用を図ります。
  - イ 学校における体育・健康に関する指導の充実を図ります。
  - ウ 学校における食育の充実を図ります。
  - エ 望ましい生活習慣の確立に向けた支援を図ります。
  - オ 運動やスポーツに親しむ機会の充実を図ります。
  - カ **スポーツを実施する子どもたちの安全・安心の確保を図ります。**





## 2 目標達成に向けた施策

目 標	目標達成に向けた施策
	事 業 名
(1)スポーツ による地 域の活性 化を図り ます	ア. スポーツ大会に参加する人、応援する人、観戦する人など、本市への来訪者を増やすため、大規模なスポーツ大会やスポーツ施設等の誘致を推進します
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウインドサーフィンワールドカップの継続開催</li> <li>・三笠艦記念スポーツひのまるキッズ関東小学生柔道大会の継続開催</li> <li>・大相撲横須賀場所の誘致</li> <li>・地域スポーツコミッション設立の検討</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプの誘致</li> <li>・ナショナルトレーニングセンター（NTC）拡充施設の誘致</li> <li>・横浜F・マリノス練習場の誘致推進</li> <li>・アーバンスポーツ（BMXやスケートボードなど）施設の誘致検討</li> <li>・<b>アーバンスポーツ大会の継続開催、誘致</b></li> </ul>
	イ. 大規模スポーツ大会の開催等が、地域の活性化に結びつくような仕組みやその効果を検証する方法を検討し、実施します
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツコミッション設立の検討（再掲）</li> <li>・スポーツツーリズムについて調査検討</li> <li>・地域の商業施設、団体等との連携を検討</li> <li>・アンケートなどによる経済効果測定の実施</li> <li>・ウインドサーフィンワールドカップを契機とした「ウインドサーフィンのまち」としての仕掛けづくり</li> <li>・横浜DeNAベイスターズ総合練習場を契機とした追浜地域のまちづくり</li> <li>・<b>横浜F・マリノス練習場を契機とした久里浜地域のまちづくり</b></li> <li>・<b>アーバンスポーツを活用した連携協定を契機とした「アーバンスポーツのまち」の推進</b></li> </ul>
	ウ. 新たなスポーツ需要を掘り起こして、場や機会を提供し、スポーツをするために本市を訪れる人を増やします
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各海岸の特性に合ったマリンスポーツの調査</li> <li>・シーカヤック・SUP（スタンドアップパドルボード）の幅広い世代に向けた普及促進</li> <li>・アーバンスポーツ（<b>アーバンスポーツ大会の継続開催、誘致</b>）</li> <li>・<b>アーバンスポーツ体験会の開催等による普及促進</b></li> </ul>

<p>(2)誰もが気軽にスポーツ、レクリエーションを楽しむことができる機会の充実を図ります</p>	<p>ア. 市民がそれぞれの興味・関心などに応じて、日常的にスポーツ、レクリエーションに親しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会の確保に努めます</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 市民スポーツ教室の拡充</li><li>・ 総合型地域スポーツクラブの活動支援</li><li>・ 市民レクリエーション大会（レクリエーションフェスタ）（春・秋季）の開催 市民を対象としたニュースポーツ等の体験</li><li>・ 早起きラジオ体操の会やラジオ体操講座などラジオ体操関連事業の実施</li><li>・ 市民球技大会の開催（令和4年度から学区枠を撤廃） 児童ソフトボール・ミニバスケットボール、成人ソフトボール・バレーボール大会の開催</li><li>・ よこすかスポーツフェスタの開催 市民を対象に、各体育会館、不入斗公園陸上競技場等を使用してスポーツを楽しむイベントを開催</li><li>・ 完走！横須賀シーサイドマラソンの実施 横須賀シーサイドマラソン完走を目指してトレーニング教室を開催</li><li>・ ノルディック・ウォーキング入門の実施 ポールを使用したウォーキングの基礎を学ぶ</li><li>・ ウォーキング講座の実施 体に負担がかかりにくい歩き方の講義や実技</li><li>・ 1万メートルプロムナード・ウォークの開催支援</li><li>・ 幸齢者（高齢者）健康のつどいの実施 60歳以上の高齢者による軽運動会の開催</li><li>・ ロコモ予防講座の実施 膝痛を予防・改善するための話と「ひざちゃん体操」の紹介</li><li>・ ダンスフェスティバルの開催と「横須賀オリジナルダンス」の普及促進</li><li>・ 各種自転車大会の開催、誘致（再掲）</li><li>・ よこすか開国祭 開国 Dancin' の開催</li><li>・ 横須賀市内及び近隣市町のダンスコンテストを開催</li><li>・ アーバンスポーツ体験会の開催等による普及促進</li></ul>
---	---

(資料 5)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀うみかぜカーニバルの開催              体験乗船会（スーパーキッズボート（エンジン付きゴムボート）、モーターボート、カヌー、ヨット）、巡視船公開等の開催</li> <li>・スポーツ能力測定会の開催              子どもを対象に、測定機器を用いた運動能力の計測を行い、最大限にパフォーマンスを発揮できるスポーツの紹介と一番得意とする動きのアウトプットによって、自信を持ってスポーツに挑戦するきっかけづくりを行う</li> </ul> <p>イ. 障害の有無などにかかわらず、スポーツを楽しむ機会の確保に努めます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肢体不自由児者運動会の開催              身体を動かす機会の少ない肢体不自由児者が、運動会を通じ、ボランティアとともに秋の一日を楽しく過ごす</li> <li>・ふれあい運動会の開催              知的障害児者及びその家族等がスポーツを通じて健康維持と親睦を深める</li> <li>・全国車椅子マラソン in 横須賀の開催支援              市内小中学生を対象とした車椅子体験交流会や、小学生から一般までの車椅子マラソン競技を開催</li> <li>・障害児者による大規模スポーツ大会の誘致</li> </ul>
<p>(3) 競技者の活動を支援するとともにスポーツ愛好家の裾野を拡大します</p>	<p>ア. スポーツに対する市民の関心と理解を深め、スポーツへの市民の参加・支援を促進するよう努めます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民体育大会の開催              年間を通して多種目（合気道・アーチェリー・空手道・カヌー・弓道・クレー射撃・ゲートボール・剣道・ゴルフ・サッカー・山岳・銃剣道・柔道・少林寺拳法・水泳・スキー・スポーツチャンバラ・相撲・ソフトテニス・ソフトボール・太極拳・体操・卓球・ダンス・スポーツ・テニス・なぎなた・バスケットボール・バドミントン・バレーボール・ハンドボール・ボウリング・ボクシング・野球・ヨット・ライフル射撃・ラグビー・陸上競技・レスリングなど）の競技大会を開催</li> <li>・少年野球大会の開催              市内の少年野球チーム（軟式野球）が一堂に会し、小学生・中学生別にトーナメント方式による大会を開催</li> <li>・市民駅伝競走大会の開催</li> </ul>

(資料 5)

	<p>市内の駅伝愛好者約 100 チームによる駅伝大会の開催</p> <p><del>・三浦半島県下駅伝競走大会の開催 【道路事情などを勘案し、無期限休止】</del></p> <p>イ. 本市をホームタウンとする横浜DeNAベイスターズ、横浜F・マリノスなどトップレベルのプロスポーツチームとの連携強化を図り、スポーツへの関心を高めます</p> <p><del>・ホームタウンチーム活動推進事業</del></p> <p>横須賀市をホームタウンとする横浜DeNAベイスターズファーム チーム、横浜F・マリノスなどのチームのプロスポーツ選手、コーチが直接学校を訪問し、授業を行うことにより、児童、生徒に夢と感動を与え、スポーツに対する関心を高めます</p> <p><del>ウ. 60歳以上の人を中心にあらゆる世代が楽しみ、交流を深めることができる健康・スポーツ・文化の祭典である第34回(令和4年度)全国健康福祉祭(ねんりんピック)の神奈川県開催に向けて県や県内他市町村と協力し、大会の成功に向けて取組みを進めます。 【令和4年度実施済みのため削除】</del></p> <p><del>・第34回全国健康福祉祭かながわ大会(ねんりんピック)の開催</del></p> <p><del>—60歳以上を中心とするスポーツと文化の祭典であるねんりんピックが令和4年に神奈川県で開催されるにあたり、県及び他市町村と協力します。</del></p>
<p>(4) 国際大会等で活躍する横須賀育ちの代表選手の輩出を目指します</p>	<p>ア. 国際競技大会や全国大会に出場する代表選手に対し、奨励金の交付や壮行会の実施をとおして、選手の負担軽減や代表選手の意識の高揚を図ります</p> <p><del>・奨励金の支給と国体育大会等壮行会の開催</del></p> <p><del>・かながわ駅伝競走大会への派遣</del></p> <p><del>・スポーツ選手育成強化事業</del></p> <p>イ. 国際競技大会や全国大会に出場する選手や、長年スポーツ振興に功績のあった方に対し、その功績をたたえるスポーツ関連の表彰を実施します</p> <p><del>・スポーツ大賞、スポーツ栄光章表彰</del></p> <p><del>・市体育功労者表彰</del></p> <p><del>ウ. 市民がオリンピック・パラリンピックへの理解を深め、多くの人が東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を観戦することで、大会を身近に感じ、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の機運を盛り上げるよう取組みます 【令和3年度実施済みのため削除】</del></p> <p><del>・オリンピック・パラリンピック事前キャンプの誘致</del></p>

(資料 5)

<p>(5) スポーツの場を提供するため、スポーツ施設の整備と円滑な管理運営、学校体育施設等の開放を推進します</p>	<p>ア. 体育会館、運動公園等体育施設の利用促進と円滑な運営管理を図ります</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育会館、屋外運動施設の管理委託</li> </ul>
	<p>イ. 安全で快適な体育施設とするため、計画的な営繕・改修を進めるとともに、必要な体育施設を整備します</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育会館、屋外運動施設の営繕工事</li> <li>・ (仮称)佐原 2 丁目公園野球場の整備</li> </ul>
	<p>ウ. 民間の体育施設を保有する企業等と連携し、スポーツの場を提供します</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間の体育施設の活用の検討</li> <li>・ 企業等が保有する体育施設の一般開放依頼</li> </ul>
	<p>エ. 学校体育施設の開放の在り方を検討し、施設の有効活用を促進します</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校体育施設開放奨励事業（体育館、校庭、プール）</li> </ul>
<p>(6) 関係団体、企業と連携したスポーツ施策を推進します</p>	<p>ア. スポーツを指導するだけでなく、スポーツの素晴らしさを伝えるなどのコーディネーターの役割も担うスポーツ指導者の育成を図ります</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ推進委員協議会の各種研修</li> <li>・ 体育協会のスポーツ学習・講習会</li> </ul>
	<p>イ. スポーツ推進委員と連携し、地域におけるスポーツの推進役を担ってもらうなど、地域スポーツの推進を図ります</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ推進委員（協議会）の活動支援</li> </ul>
	<p>ウ. 体育協会、レクリエーション協会、スポーツ指導者協議会、学区体育振興会、スポーツ推進委員協議会、スポーツ少年団などと協力してスポーツの振興を図ります</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会体育団体等への補助</li> </ul>
	<p>エ. 企業等と連携してスポーツに親しむ機会を創出します</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業が開催するスポーツイベントの誘致</li> </ul>
<p>(7) 子どもの健やかな体を育成します</p>	<p>ア. 体力・運動能力、運動習慣等の実態把握と調査結果の活用を図ります</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒健康・体力向上推進事業</li> <li>・ 新体力テスト測定員派遣</li> <li>・ 学校体育授業サポーター派遣</li> </ul>

イ. 学校における体育・健康に関する指導の充実を図ります

- ・各学校における「健康・体力向上プラン作成」推進事業
- ・体育・保健体育に関する専門的指導助言および協力
- ・体育・健康に関する研修講座、説明会等の充実
- ・県立体育センター等研修講座派遣事業
- ・学校体育実技指導協力者派遣事業
- ・学校体育研究委託事業
- ・スポーツリズムトレーニング普及事業

ウ. 学校における食育の充実を図ります

- ・学校における食育の推進
- ・安全、安心な学校給食の提供と充実
- ・中学校完全給食推進事業

エ. 望ましい生活習慣の確立に向けた支援を図ります

望ましい生活習慣、運動習慣の確立のための啓発活動

オ. 運動やスポーツに親しむ機会の充実を図ります

- ・児童生徒各種競技大会事業
- ・中学校部活動指導者派遣事業
- ・市立横須賀総合高等学校運動部活動強化育成事業
- ・各種競技大会選手派遣奨励事業

カ. スポーツを実施する子どもたちの安全・安心を確保します

スポーツを実施する子どもたちが、本人の希望しない理由等でスポーツから離れたり、スポーツに親しむ機会を奪われたりすることがないように、スポーツを実施する子どもたちの心身の安心・安全を確保します

- ・少年期スポーツ障害予防対策事業



## 第5章 目標指標及び進捗管理

「スポーツ推進計画」を実効あるものとするために、計画に位置付けた施策が具体的に執行されているかどうかといったことについて、目標指標を立て、点検・評価による進行管理を行います。

点検・評価の結果については、毎年、市議会や関係審議会に報告するとともに、市民に公表し、集約された意見については、計画の進行や見直しなどに活かしていきます。

※各指標における目標値は、令和7年度（2025年度）末の数値となります。

指標名	大規模スポーツ大会等の誘致・開催件数	目 標	スポーツによる地域の活性化を図ります
		施 策	・ウインドサーフィンワールドカップの継続開催 ・三笠艦記念スポーツひのまるキッズ 関東小学生柔道大会の継続開催
概 要	大規模スポーツ大会等の誘致・開催件数から本市におけるスポーツ参画人口の拡大を図ります		
基準値	5大会（平成29年度）	目標値	6大会以上 ※過去の最高値の件数以上

指標名	成人のスポーツ実施率	目 標	誰もが気軽にスポーツ、レクリエーションを楽しむことができる機会の充実を図ります
		施 策	・市民スポーツ教室 ・市民レクリエーション行事等
概 要	市民が週に1回以上スポーツを実施する割合から市民が日常的にスポーツに親しむ機会を増やします		
基準値	48.4% （平成28年度週に1回以上スポーツや運動をしている人）	目標値	65% ※スポーツ基本計画での目標値（成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人（65%程度）



(資料5)

指標名	市民スポーツ教室、スポーツフェスタ参加人数	目 標	誰もが気軽にスポーツ、レクリエーションを楽しむことができる機会の充実を図ります
		施 策	・市民スポーツ教室 ・市民レクリエーション行事等
概 要	市民スポーツ教室及びスポーツフェスタ参加人数から市民の誰もが日常的にスポーツに親しみ、又はスポーツを支える活動に参画する機会を増やします		
基準値	8,714人(平成23年度)	目標値	9,000人 ※平成24～平成28年度の最高値の千人未満を切り上げ

指標名	全国大会以上の大会に出場する選手数(生徒は県、関東大会を含む)	目 標	国際大会等で活躍する横須賀育ちの代表選手の輩出を目指します
		施 策	・国県体育大会等選手派遣事業
概 要	国際競技大会や全国大会に出場する選手に対し、報償金の交付や壮行会などを実施して選手の負担軽減とともに代表選手の意識の高揚を図り、市民に誇りと喜び、夢と感動を与え、スポーツへの関心を高めます		
基準値	2,446人(過去5年間の最高値)	目標値	2,500人 ※平成25～28年度の最高値を切り上げ

指標名	体育会館の利用者数	目 標	スポーツの場を提供するため、スポーツ施設の整備と円滑な管理運営、学校体育施設等の開放を推進します
		施 策	・体育会館、屋外運動施設の管理委託
概 要	体育会館の効率的な活用を図るため、運営維持管理業務を指定管理者に委託するとともに計画的な施設整備を行い、利用者の増加を図ります		
基準値	842,346人(平成28年度)	目標値	850,000人 ※平成24～28年度の最高値を切り上げ

## (資料5)

指標名	運動公園の利用件数	目 標	スポーツの場を提供するため、スポーツ施設の整備と円滑な管理運営、学校体育施設等の開放を推進します
		施 策	・体育会館、屋外運動施設の管理委託
概 要	スポーツ施設の運営方法を検討するとともに、計画的な施設整備を行う		
基準値	97,155 件 (平成 28 年度)	目標値	98,000 件 ※平成 24～28 年度の最高値の千人未満を切り上げ

指標名	「運動が好き・やや好き」と回答する本市児童生徒の割合	目 標	子どもの健やかな体を育成します
		施 策	学校における体育・健康に関する指導の充実
概 要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の質問紙調査の結果における、「運動が好き・やや好き」と回答した児童生徒の割合と、全国の平均値を比較することから、児童生徒の運動やスポーツに対する肯定的な意識の状況を測ります (小学校 5 年生、中学校 2 年生)		
基準値	<b>【小学校 5 年生男子】 93.9%</b> <b>【小学校 5 年生女子】 88.3%</b> <b>【中学校 2 年生男子】 91.8%</b> <b>【中学校 2 年生男子】 77.9%</b> (令和元年度)	目標値	<b>【小学校 5 年生男子】 94.2%</b> <b>【小学校 5 年生女子】 88.0%</b> <b>【中学校 2 年生男子】 90.6%</b> <b>【中学校 2 年生男子】 79.4%</b>

## (資料5)

指標名	1週間の総運動時間が0分の児童生徒の割合	目 標	子どもの健やかな体を育成します
		施 策	学校における体育・健康に関する指導の充実
概 要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の質問紙調査の結果における、1週間の総運動時間が0分の本市児童生徒の割合から、児童生徒の運動習慣の状況を測ります（小学校5年生、中学校2年生）		
基準値	<b>【小学校5年生男子】 4.4%</b> <b>【小学校5年生女子】 6.6%</b> <b>【中学校2年生男子】 5.9%</b> <b>【中学校2年生女子】 13.9%</b> （令和元年度）	目標値	<b>【小学校5年生男子】 1.2%</b> <b>【小学校5年生女子】 2.0%</b> <b>【中学校2年生男子】 2.6%</b> <b>【中学校2年生女子】 6.9%</b>

指標名	児童生徒の新体力テスト結果の総合評価D・Eの割合の合計	目 標	子どもの健やかな体を育成します
		施 策	学校における体育・健康に関する指導の充実
概 要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果における、新体力テスト結果の総合判定D・Eの本市児童生徒の割合と、全国の平均値を比較することから、体力下位層の子どもの状況を測ります（小学校5年生、中学校2年生）		
基準値	<b>【小学校5年生男子】 35.7%</b> <b>【小学校5年生女子】 29.8%</b> <b>【中学校2年生男子】 26.2%</b> <b>【中学校2年生女子】 9.6%</b> （令和元年度）	目標値	<b>【小学校5年生男子】 28.7%</b> <b>【小学校5年生女子】 22.5%</b> <b>【中学校2年生男子】 26.0%</b> <b>【中学校2年生女子】 9.0%</b>

## (資料5)

指標名	朝食を食べない日が多い・食べない児童生徒の割合の合計	目 標	子どもの健やかな体を育成します
		施 策	学校における食育の充実
概 要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「朝食を食べない日が多い」・「食べない」と回答した児童生徒の割合の合計から、学校と家庭の連携による望ましい生活習慣の定着状況を測ります（小学校5年生、中学校2年生）		
基準値	<b>【小学校5年生男子】 3.3%</b> <b>【小学校5年生女子】 3.2%</b> <b>【中学校2年生男子】 6.2%</b> <b>【中学校2年生女子】 5.6%</b> （令和元年度）	目 標 値	<b>【小学校5年生男子】 1.6%</b> <b>【小学校5年生女子】 1.2%</b> <b>【中学校2年生男子】 3.0%</b> <b>【中学校2年生女子】 2.8%</b>

指標名	1日の睡眠時間が6時間未満の児童生徒の割合	目 標	子どもの健やかな体を育成します
		施 策	望ましい生活習慣の確立に向けた支援
概 要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における1日の睡眠時間が6時間未満と回答した児童生徒の割合から、学校と家庭の連携による望ましい生活習慣の定着状況を測ります（小学校5年生、中学校2年生）		
基準値	<b>【小学校5年生男子】 4.3%</b> <b>【小学校5年生女子】 2.4%</b> <b>【中学校2年生男子】 9.6%</b> <b>【中学校2年生女子】 9.0%</b> （令和元年度）	目 標 値	<b>【小学校5年生男子】 1.5%</b> <b>【小学校5年生女子】 0.9%</b> <b>【中学校2年生男子】 4.4%</b> <b>【中学校2年生女子】 4.5%</b>

## (資料5)

指標名	児童生徒の体力合計点	目 標	子どもの健やかな体を育成します
		施 策	体力・運動能力、運動習慣等の実態把握と調査の活用
概 要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果における体力合計点の本市児童生徒の平均値と、全国平均値の比較から、子どもの体力の状況を測ります (小学校5年生、中学校2年生)		
基準値	<b>【小学校5年生男子】 52.59 点</b> <b>【小学校5年生女子】 54.23 点</b> <b>【中学校2年生男子】 42.67 点</b> <b>【中学校2年生女子】 51.10 点</b> (令和元年度)	目標値	<b>【小学校5年生男子】 54.59 点</b> <b>【小学校5年生女子】 56.23 点</b> <b>【中学校2年生男子】 43.47 点</b> <b>【中学校2年生女子】 51.80 点</b>

## 用語の解説

○ ウインドサーフィンワールドカップ

ウインドサーフィンの世界最高峰の大会「PWAワールドカップ」は、毎年ヨーロッパを中心に約10か国転戦するワールドツアーです。

○ MTB

荒野、山岳地帯等での高速走行、急坂登降、段差越えなどを含む広範囲の乗用に対応して、軽量化並びに耐衝撃性、走行性能および乗車姿勢の自由度等の向上を図った構造の自転車を使用した競技スポーツ。

○ 健康寿命

平均寿命のうち、日常的・継続的な医療・介護に依存しないで、自分の心身で生命維持し、自立した生活ができる生存期間のこと。WHO（世界保健機関）が提唱した指標で、平均寿命から、衰弱・病気・認知症などによる介護期間を差し引いたもの。

○ 社会体育

学校教育法に基づき学校の教育課程として行われる教育活動を除く、主として青少年および成人に対して行われる組織的な教育活動（体育およびレクリエーションの活動を含む）

○ スポーツコミッション（SC）

スポーツと景観・環境・文化などの地域資源を掛け合わせ、戦略的に活用することで、まちづくりや地域活性化につなげる取り組みが全国で進められている。

○ スポーツ少年団

地域社会においてスポーツ活動を中心に組織的な活動をしている少年のスポーツクラブで、日本スポーツ少年団に登録をしてその認定を受けている。

○ スポーツ推進委員

本市におけるスポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対し、スポーツにおける実技の指導やその他スポーツに関する指導および助言を行う者。非常勤職員として市長が委嘱している。

## (資料5)

### ○ スポーツ推進委員協議会

スポーツ推進委員相互の連絡調整とスポーツ推進のため体制の整備を図り、地域社会体育の推進に寄与することを目的とし、主に社会体育の推進に関し関係行政機関との連絡調整、町内会等地域諸団体の体育及びレクリエーション活動の実技指導及び助言などを行う。

### ○ スポーツツーリズム

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ための旅行やこれらと周辺地観光を組み合わせた旅行のほか、旅行者が全国どこでもスポーツに親しめるような環境の整備や提供も含まれる。国際競技大会や生涯スポーツイベント等の招致・開催及び武道体験等の機会の提供は、我が国の観光の魅力を発信し、スポーツツーリズムの発展に有効であると考えられている。

### ○ スポーツ・レクリエーション活動

スポーツとして行われるレクリエーション活動のこと。心身の健全な発達、生きがいのある豊かな生活の実現等のために行われる活動としてスポーツ基本法第24条において新たに位置づけられた。

### ○ 総合型地域スポーツクラブ

子どもから高齢者まで（多世代）を対象として、様々なスポーツを愛好する人々が（多科目）、技能の高低や障害の有無などに関わらずそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ。

### ○ ナショナルトレーニングセンター（NTC）

主として国際級選手の強化のために国が設立する中核的スポーツ施設のこと。スポーツ先進国ではほとんど完備されている。日本では、平成13年（2001年）4月東京都北区に国立スポーツ科学センターが発足、10月にオープンし、トップレベル選手への医科学的なサポートが本格的に始まった。

### ~~○ ねんりんピック~~

~~高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典である全国健康福祉祭の愛称で、厚生省（現：厚生労働省）創立50周年を記念して昭和63（1988年）に開始されて以来、毎年開催されている。~~

## (資料 5)

### ○ ひざちゃん体操

ひざの痛みを抱える方の痛みの軽減や予防をサポートする簡単な体操。

### ○ BMX

競技は、技を競うエクストリームスポーツとして広く知られる「フリースタイル」と、ジャンプ台が設置されたダートコースで速さを競う「レース」の 2 系統があるバイシクルモトクロス。競技用車両は、20 インチ径ホイールを持つ競技用自転車でおフロードを走るための自転車。

### ○ ロコモ

ロコモは筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板といった運動器のいずれか、あるいは複数に障害が起こり、「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態。



## ◎アーバンスポーツ（BMX・ダンス）について （報告事項）

アーバンスポーツは、若者に人気があり、エンターテインメント性が高く、本市のイメージとマッチしていることから、「音楽・スポーツ・エンターテインメント都市」のさらなる実現に向け、BMXとダンスを中心に、アーバンスポーツの普及・振興に向けた取り組みを進めています。

## 1 令和4年度の取り組み

## (1) BMX

4月27日	一般社団法人全日本フリースタイルBMX連盟と市がアーバンスポーツを活用した連携協定を締結
5月22日	うみかぜアーバンスポーツフェスタの開催 うみかぜ公園指定管理者による自主事業
7月11日～12日	BMX学校訪問 大楠小学校、夏島小学校
7月22日～24日	BMXジャパンカップの開催 うみかぜ公園
8月以降（予定）	ジャパンカップで使用したセクションの供用開始 うみかぜ公園（予定）
8月以降	スポーツ庁の補助事業 ・学校訪問 ・市内イベント会場でのBMX体験会の実施 ・地元企業・市民向け講演会の実施 ・モニターツアーの実施

## (2) ダンス

4月29日	HIGHSCHOOL DANCE&MUSIC FESTIVAL IN 三笠公園 高校生ダンス部と軽音楽部イベントを共催実施
5月13日	JAPAN DANCE DELIGHT VOL. 28 横須賀大会および 高校ストリートダンスグランプリの開催について、 (株)アドヒップ、(株)フルクラムスクワッドと市が共同記者会見
8月14日	JAPAN DANCE DELIGHT VOL. 28 横須賀大会 開催 横須賀芸術劇場（大劇場）
11月3日	海上自衛隊国際観艦式2022における横須賀オリジナルダンスの披露（高校生ダンス部の活動支援）

	(仮称) 横須賀パレード内で披露
1月29日 2月23日	高校ストリートダンスグランプリ予選大会の開催 横須賀市文化会館 (大ホール)
3月19日	高校ストリートダンスグランプリ決勝大会の開催 横須賀芸術劇場 (大劇場)
その他	年度内にうみかぜ公園にダンス練習用鏡設置予定

## 2 今後の方向性

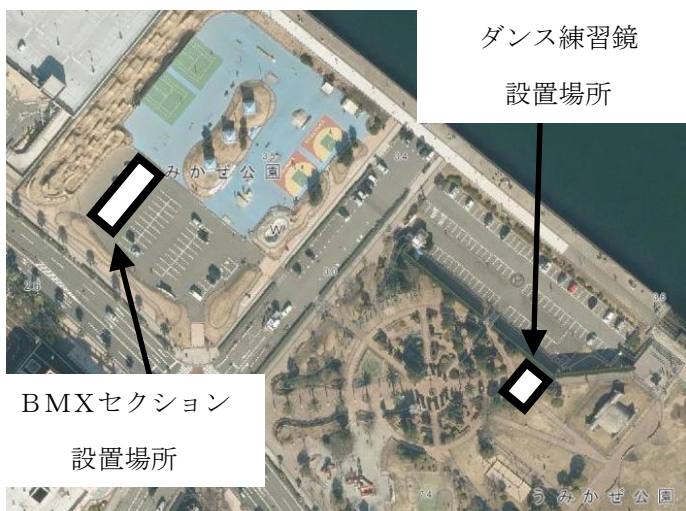
### (1) BMX

- ・ BMXジャパンカップの継続開催
- ・ ジャパンカップで使用したセクションの利活用拡大
- ・ 指定管理者と連携したアーバンスポーツイベントの実施
- ・ 学校訪問やBMX体験会、講演会の継続実施

### (2) ダンス

- ・ 高校ストリートダンスグランプリの規模拡大  
(参加校 80校→120校、予選 2日間→3日間)
- ・ 中学・高校ダンス部へのダンス講師派遣等
- ・ 積極的な屋外でのダンスパフォーマンス披露

#### 【参考：設置イメージ】



◎横浜F・マリノスに関連した取り組みについて

本市のホームタウンチームである横浜F・マリノスの練習場が久里浜に整備されます。

これに合わせて、久里浜地区を中心としたまちの賑わいを創出するとともに地域経済の活性化を図ります。

1 横浜F・マリノス久里浜練習場（仮称）の竣工、供用開始

令和5年（2023年）1月から一部供用開始、同年5月から全面供用開始予定です。



2 オープニングセレモニーの開催

**実施時期：令和5年1月予定**

練習場の一部供用開始を記念し、令和5年1月にオープニングセレモニー（完成式典）を行う予定です。

オープニングセレモニーでは、地元と連携して盛り上げを行う予定です。

3 (一社)F・マリノススポーツクラブ、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、横須賀市の4者連携協定の締結

締結時期：令和4年10月予定

練習場の整備を契機に、スポーツを核としたまちづくりや来訪者の増加などを目的とした4者連携を締結する予定です。

4 久里浜西口駅前通りの道路愛称制定

実施時期：令和4年10月予定

久里浜西口駅前通りの愛称をマリノスにちなんだ愛称に制定することを検討中です。

5 練習場を中心とした久里浜地域のまちなか装飾

装飾開始日：令和4年12月より順次

地元住民だけでなく、市内外から練習場を訪れる方々に「マリノスがある街」を感じてもらえるよう、久里浜駅周辺～練習場に至るまちなか装飾を施します。

(1) 電柱等装飾

市内外から練習場を訪れる方々に「マリノスがある街」を感じてもらえるよう、JR久里浜駅前から練習場に至るアクセス道路及び久里浜駅東口側の商店街に設置されている電柱等にマリノスデザインの装飾を施します。

(電柱が地中化している場所は、代わりに地上機器を装飾します。)

(参考イメージ1)

追浜にあるベイスターズ装飾電柱



(参考イメージ2)

藤沢市にある地上機器ラッピング



(2) 路面案内シート貼付け

電柱装飾と同じく「マリノスがある街」を感じる装飾として、練習場へのアクセス道及び東口側の商店街に路面案内シートを貼ります。

練習場への道案内とともに、交通安全啓発を兼ねたシートを組み込み、交通安全の一助を担います。

(参考イメージ) 豊田市にある名古屋グランパス本拠地の豊田スタジアムまでの道案内シート



(3) 久里浜西口栄通り商店会の街路灯装飾

商店街でのマリノスウェルカムムードを演出するため、商店街が市の補助金を活用し、街路灯装飾を実施します。

(参考イメージ)



## 6 マリノスゆかりの給食提供

提供日：令和5年2月予定

子どもたちにマリノスへの興味や選手への愛着を感じてもらえるよう、マリノス所属選手ゆかりの料理（例：ブラジル料理など）を市内小・中学校の学校給食として提供します。

## 7 その他検討中の事業

- ・商店街でのマリノスを活用したグッズ展開（マリノスカレーなど）
- ・商店街や市内拠点でのマリノス公式戦のパブリックビューイング実施
- ・練習場の一般開放（市民大会の開催など）
- ・プロスポーツ選手と子どもたちのふれあいの機会創出
- ・地域イベントへの選手参加
- ・企業版ふるさと納税による寄附金を活用した地方創生事業
- ・久里浜マリノス検討部会を活用した地元との連携事業

## 8 実施済・継続中の事業

- ・小学校等への巡回スポーツ教室
- ・F・マリノスデザイン原付バイクナンバープレートの交付
- ・試合日等における久里浜地区市施設職員のマリノスユニフォーム着用
- ・記念艦三笠のトリコロールカラーライトアップ（時期限定）
- ・市制作ポスター、情報誌へのマリノス選手写真掲載等
- ・転入者対象マリノス公式戦無料観戦ご招待
- ・市公用車へのPRシート貼付 など

## [関係法令]

## スポーツ基本法（抜粋）（平成二十三年六月二十四日法律第七十八号）

（都道府県及び市町村のスポーツ推進審議会等）

## 第三十一条

都道府県及び市町村に、地方スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議させるため、条例で定めるところにより、審議会その他の合議制の機関（以下「スポーツ推進審議会等」という。）を置くことができる。

## スポーツ推進審議会条例

昭和39年4月1日 条例第40号

改正 平成27年3月30日 条例第34号

（設置）

第1条 スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第31条の規定により、横須賀市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 審議会は、委員14人以内をもって組織する。

2 委員は、公募市民、関係団体の代表者及び学識経験者のうちから市長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第3条 審議会に委員長を置き、委員長は委員の互選とする。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理する。

（会議）

第4条 審議会の会議は、委員長が招集する。

2 審議会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

（その他の事項）

第5条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営について必要は事項は、審議会の同意を得て委員長が定める。